

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	地球市民かながわプラザ
指定管理者	公益社団法人青年海外協力協会・株式会社金港美装
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	国際課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 県民の国際理解の促進に資する展示やイベントなどを提案どおり実施したため、B評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 電気料金について、燃料価格高騰による電気料金単価上昇のため増加したが、節電を実施したため、支出額は収支計画の範囲内に収まり、提案した 指定管理料で適切、かつ計画的に指定管理業務を実施したため、B判定となった。 （電気使用量：前年度比0.2%減、電気料金：前年度比6.3%増、888千円増、25年度光熱水費（年間）：収支計画比6.6%減、2,779千円減）</p> <p>< 3 利用状況 > 県民に関心の高い国際理解や子どもの豊かな感性の育成をテーマとする企画展の充実などにより、利用者数が前年同期で2.4%増加したためB判定となった。</p> <p>< 4 事故・不祥事等 > 展示室で利用者が負傷する事故が発生したが、適正な管理運営の状況下で発生した事故であり、利用者への応急措置などの事後対応や再発防止策を適切に実施したため、B評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 施設の設置目的を踏まえた事業について、引き続き積極的に行うとともに、新たな利用者の掘り起こしに向けて、広報の強化やイベントの充実などの取り組みに努めてもらいたい。</p>

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1	<p>子どもの豊かな感性の育成や県民の地球市民意識の醸成のための総合的学習拠点、県民の国際交流・協力活動の拠点として、来館者に学習機会や活動の場を提供するなど、施設の効用を高めるため、具体的な事業を提案した。</p> <p>①常設展示の内容を深化・補完し、展示の充実を図るため、プラザ設置目的を踏まえ、世界の伝統文化、自然、災害、歴史的遺産などをテーマとした企画展を実施し、楽しく学び、豊かな感性を育む機会を提供する。</p>	<p>1 ① ア 4月26日～5月6日 「アクアリウムジャーニー2013 ちきゅうにくらす魚たち」 入場者4,041人 地球環境保護への理解を深めることを目的として、世界各地に生息する小型魚などの水中生物について、生息環境を再現したアクアリウムで生態展示するミニ水族館を実施。30以上の国と地域から集めた100種類以上の生物の展示や、展示室内に、遊びながら生物の生態が学べるカルタや、ヒトデなどの生物に触れることができるタッチプールを設置し、子どもが楽しく学べる企画を実施した。 〈主な関連企画〉 ・映画上映「ていだかんかん 海とサンゴと小さな奇跡」 4/27実施、入場者90人 絶滅寸前の沖縄のサンゴ礁の保護をテーマとした映画を上映 ・各種講座などのミニステージ 5/3～6の毎日実施(1日3回)、入場者10～30人(各回) アクアリウムの作り方や魚の写真撮影の講座やハーブ演奏会を実施</p>

<p>イ 5月18日～6月16日 「アフリカンウーマン～女性が伝える希望の力～」 入場者数2,354人 6月1日～3日に横浜を会場として開催された第5回アフリカ開発会議を契機として、アフリカ女性の力強く美しく生きる姿を写した写真、衣装や生活用品を展示することにより、アフリカへの関心を高める機会を提供した。 (主な関連企画) (ア)展示作品撮影時のエピソードについて、写真家3人が語るトークショー 「輝く力×板垣真理子 アフリカン・ビューティー in Africa and Japan」 5/18実施、入場者37人 「守る力×東海林美紀 Mother」 6/8実施、入場者34人 「歩む力×小林博子 ウガンダでふんばって生きるマリア先生」 6/15実施、入場者75人 (イ)池上清子氏講演会「アフリカ・女性・健康」 6/9実施、入場者46人 (ウ)ワークショップ 「世界の教室 西アフリカ」 6/1実施、参加者10人 セネガルやギニアの文化・くらしの紹介や民族楽器ジャンベの演奏会 「世界の教室 アフリカンドレス カンガを巻こう！」 5/26実施、参加者28人 タンザニアやケニアの民族衣装カンガの着付けやアフリカンビーズアクセサリー作り (エ)アフリカを舞台にした映画の上映会 「テーキング・ルート～ワンガリ・マータイのビジョン～」 5/19実施、105人 「デザートフラワー」 5/24実施、49人 「遊牧民の家 (Nomad' Home)」 6/7実施、入場者35人 「チョコラ！」 6/16実施、入場者86人</p> <p>ウ 8月8日～9月23日 「きみのみらい・みらいのきみ～かこさとしと探しにいこう、絵本の中へ」 入場者数7,330人 子どもを対象として、絵本作家かこさとし氏の絵本で描かれた「個」「社会」「地球」「宇宙」のテーマについて、パネルや模型などを展示し、科学がもたらす未来や人間のあり方について考えるきっかけを提供した。 (主な関連企画) (ア)「きみとぼくのおはなし会～かこさとしの世界へようこそ～」 8/21、22(1日2回)実施、参加者147人 市民活動団体の協力により、かこさとし氏の絵本の読み聞かせ会を開催 (イ)「こどものあーすじあたー」 9/8(1日2回)実施、入場者244人 環境問題をテーマとした映画の上映会(「動物かんきょう会議」「モリゾー・キッコロ地球環境の旅」) (ウ)世界の教室「ンジャセ・ニャンさんのおしゃべりたいこワークショップ」 9/16(1日2回)実施、参加者51名 人類の歴史の中で道具として使われているものの一例として、西アフリカで遠距離の通信手段として使われた民族楽器トーキングドラムの演奏を体験するワークショップを開催。</p>	<p>②「アフリカ・女性・健康」(再掲) 6/9実施、入場者46人 講師 池上清子氏 (日本大学大学院総合社会情報研究科教授) 開発途上国の女性の健康を守る活動に取り組む講師による、アフリカの女性の健康課題についての講演会。 (今後の予定) 下半期に講演会を6回実施予定</p>
<p>1 ② (指定管理業務)</p>	<p>②地球規模の課題への認識を深め、地球市民としての意識を醸成することを目的として、幅広い年齢層を対象に多彩な講演会(年6回以上)を開催する。</p>

提案内容		実施状況等
1 ③ (指定管理業務)	③外国籍県民の生活支援の観点から、外国籍県民相談事業を実施する。	③外国籍県民相談窓口の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・教育 相談件数 446件(4~9月) 窓口 横浜に設置 相談日 週5日 対応言語 中国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、日本語 ・一般相談 相談件数 504件(4~9月) 窓口 横浜・川崎・厚木に設置 相談日(※) 週1~4日 対応言語(※) 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、朝鮮語、タイ語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語 ・法律相談 相談件数 58件(4~9月) 窓口 横浜・厚木に設置 相談日(※) 週1日、または4日 対応言語(※) 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、朝鮮語 ※窓口によって異なります。
2 (指定管理業務)	指定管理料について、人件費の削減により、指定管理者選定時に県が提示した参考価格より大幅な削減を図る提案を行った。	電気料金について、燃料価格高騰による電気料金単価上昇のため増加したが、節電を実施したため、支出額は収支計画の範囲内に収まり、提案した指定管理料で適切、かつ計画的に指定管理業務を実施した。 (電気使用量：前年度比0.2%減、電気料金：前年度比6.3%増、888千円増、25年度光熱水費(年間)：収支計画比6.6%減、2,779千円減)

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月13日	5月29日	○	○	○	無	
5月	6月12日	7月1日	○	○	○	有	事故発生の場合における適切・迅速な対応及び日頃の適正な施設管理に努めるよう指導した。
6月	7月12日	7月18日	○	○	○	有	事故発生の場合における適切・迅速な対応及び日頃の適正な施設管理に努めるよう指導した。
7月	8月13日	8月28日	○	○	○	無	
8月	9月13日	10月1日	○	○	○	無	
9月	10月11日	11月6日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の15日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計	うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)		303,192	27,127	0	330,319	330,319	0	0
年度計画	前年度	261,417	20,280	996	282,693	282,693	0	0
	上半期	136,399	10,140	498	147,037	147,037	0	0
	下半期	125,018	10,140	498	135,656	135,656	0	0
	今年度	261,132	20,280	996	282,408	282,408	0	0
	上半期	123,132	10,140	498	133,770	133,770	0	0
	下半期	138,000	10,140	498	148,638	148,638	0	0
上半期実績	4月	13,132	2,400	10	15,542	8,938	0	6,604
	5月	16,000	2,368	0	18,368	25,476	0	▲ 7,108
	6月	20,000	2,272	13	22,285	20,457	0	1,828
	7月	19,000	2,656	23	21,679	22,811	0	▲ 1,132
	8月	18,000	3,096	5	21,101	20,562	0	539
	9月	37,000	2,576	2	39,578	32,124	0	7,454
	上半期合計	123,132	15,371	54	138,557	130,369	0	8,187
	対収支計画比	0.0%	51.6%	▲ 89.2%	① 3.6%	② ▲ 2.5%	③	6.1%
参考	前年度 上半期実績合計	136,399	15,429	74	151,902	134,441	0	17,461
	対前年度 上半期実績比				▲ 8.8%	-3.0%		

※その他収入の内容 事業収入、雑収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		該当なし
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	該当なし
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **B**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	27,106 人	27,081 人	100.1 %
5月	34,799 人	35,335 人	98.5 %
6月	30,022 人	28,444 人	105.5 %
7月	35,166 人	32,653 人	107.7 %
8月	41,872 人	40,801 人	102.6 %
9月	30,676 人	30,720 人	99.9 %
合計	199,641 人	195,034 人	102.4 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	199,641 人	195,034 人	362,223 人	① — %	② 102.4 %
下半期計	— 人	— 人		— %	— %
合計	199,641 人	195,034 人	362,223 人	▲ 44.9 %	2.4 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している
基準	通年
	前年度数値

その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	目標対比増減率が△44.9%と低い理由は、目標利用者数が年間目標利用者数のためであるが、上半期で目標値の55%を超えているため、目標値に向けて順調な利用状況と認められる。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

<参考>

施設の最大利用可能人数

	常設展示室	企画展示室	情報フォーラム /映像ライブラリー	プラザホール /映像ホール	会議室等	合計
定員(1日あたりの延べ人数)	—	—	—	417	298	715
年間利用可能日数	305	359	305	359	359	
最大人数	0	0	0	149,703	106,982	0
半期	0	0	0	74,852	53,491	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 —

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

—：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	—	—	—	—	—	0	0 ()

※今年度の実施予定

上半期 0 回

下半期 1 回

その他

※配布・回収件数

配布 — 件

回収 — 件

回収率 #VALUE! %

※実施方法

利用者等に配布

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	4	0	0	0	16	20
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望等への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
5月3日	展示室内遊具（ジャングルジム）に登って遊んでいた児童が、遊具から転落して負傷する事故が発生した。	遊具は、定期的な保守点検により良好に維持され、定員人数厳守で利用していたため、施設管理上の問題は認められない。突発的・偶発的に事故が発生した。	負傷児童の応急措置や医療機関の手配をすみやかに行った。 再発防止措置として、当該遊具の利用状況について監視を強化し、適宜、利用者へ注意喚起を行うこととした。
6月20日	施設内ラウンジで利用者の荷物を置き引きされる窃盗事件が発生した。	利用者が荷物をラウンジに置いたまま席を立った際に置き引きされたものであり、日頃より指定管理者は盗難防止の張り紙掲示により注意喚起を行っていた。	利用者からの事件発生連絡を受け、警察署への連絡や捜査に協力した。 盗難防止のため、適宜、利用者への注意喚起を行うこととした。

随時モニタリングの実施状況

該当あり

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
5月3日 (5月3日)	事故発生現場を確認し、事故発生の経緯や状況、遊具の保守管理状況について、指定管理者にヒアリングを行った。	調査の結果、適正な管理運営状況下で、偶発的・突発的に発生した事故であることが確認されたが、指定管理者に対し、利用者への注意喚起を行うとともに、事故発生時における適切・迅速な対応や日ごろから適正な施設管理に努めるよう、指導した。
6月20日 (6月21日)	事故発生の経緯や状況について、指定管理者にヒアリングを行った。	調査の結果、適正な管理運営状況下で、発生した事件であることが確認されたが、指定管理者に対し、利用者への注意喚起を行うとともに、事故発生時における適切・迅速な対応や日ごろから適正な施設管理に努めるよう、指導した。
()		